

令和 2年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	安全・安心で快適なまち
基本方針	住みやすさを感じるまち
基本施策名	秩序あるまちづくりの推進

	所属	職名	氏名
作成者	都市計画課	課長	横山 佳久
評価者	都市建設部	部長	坪田 浩昭

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	都市計画審議会や制度評価委員会の意見を聞きながら、都市計画マスタープラン及び道路整備推進計画の改定を行いました。土地利用条例と関連する規則の改正を行い、都市計画基礎調査や、市民アンケートの結果から、土地利用基本計画の変更を行いました。安曇野市サインガイドラインに基づき、公共系・観光系のサイン整備18箇所を施工しました。都市計画道路「吉野線」は、豊科高校体育館から新田堰まで(117m)工事を実施し、完成概算延長が363mとなりました。市街地の浸水対策・住環境整備のため、都市下水路及び市街地排水路の整備を行いました。
基本方針 (目指すべき方向性)	計画的な土地利用を促し、暮らしやすさと産業発展のバランスが取れた持続可能なまちづくりを進めます。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H30	H31	R 2	達成率	進捗状況	所管課
都市計画道路整備率	%	33.4	35.4	35.4	35.4	36.1	108	順調	都市計画課

施策指標の進捗状況と分析	都市計画道路の整備率は令和2年度末に36.1%となっています。「吉野線」については道路改良工事と用地補償を進めており、整備継続中です。限られた財源の中、国の社会資本整備総合交付金を活用しながら進めています。
--------------	---

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位:円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化		
				H30	H31	R 2	R 3	R 4	合計	事業区分	新/継	総合評価	方向性		正規職員数	
1	0108380	都市計画総務費	計画係	213,294,043	179,622,468	176,632,982				569,549,493	義務業務		A	現状のまま実施することが適切	1.76	
2	0108390	土地利用制度	計画係	301,054	8,775,720	9,266,820	436,000	437,000	19,216,594	政策的業務	継続	A	現状のまま実施することが適切	1.87		
3	0108392	情報案内板整備	計画係	20,088,000	2,816,000	36,368,200	25,900,000	9,378,000	94,550,200	ハード(新規)	継続	A	現状のまま実施することが適切	1		
4	0108460	街路整備事業(交付金)	都市整備係	97,950,999	182,471,490	126,412,200	113,424,000		520,258,689	ハード(継続)	継続	C	事業効果を高めるための方策を検討	1.67		
5	0108530	都市下水路維持管理費(市単独)	都市整備係	1,768,750	3,387,729	2,334,126			7,490,605	ハード(継続)	継続	A	現状のまま実施することが適切	0.1		
6	0108540	市街地排水路改修事業(市単独)	都市整備係	8,373,456	9,434,410	8,047,429			25,855,295	ハード(継続)	継続	A	現状のまま実施することが適切	0.15		
合計				341,776,302	386,507,817	359,061,757	139,760,000	9,815,000	1,236,920,876							

事務事業量とコスト(費用対効果)の分析	人口減少、少子高齢化時代を迎え、持続可能な安曇野市のためにコンパクトで利便性の高いまちづくりを進めています。土地利用については、アルプスの麓に広がる田園風景という「安曇野らしさ」を保持しながら土地利用条例を運用しています。情報案内板整備により市内各施設への案内不足を解消しています。都市計画道路「吉野線」については、歩車道及び交差点の改良により、歩行者の安全性や渋滞解消が図られています。都市下水路・市街地排水路整備により、住環境の整備を行っています。
重点化事務事業の考え方	
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価(次年度へ向けた課題の抽出含)	厳しい財政事情を踏まえ、特定財源を確保しながら計画的かつ継続的に事業を進める必要があります。

令和 2年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	安全・安心で快適なまち
基本方針	住みやすさを感じるまち
基本施策名	良質な住環境の整備

	所属	職名	氏名
作成者	都市計画課	課長	横山 佳久
評価者	都市建設部	部長	坪田 浩昭

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	平成25年度に策定した公園施設長寿命化計画が5年を経過した事から、平成30年度に見直しを実施しました。国の交付金を活用しながら、長寿命化計画に基づき公園施設の更新、修繕、補修工事を実施しています。令和2年度は、豊科南部総合公園外2公園の施設更新工事を実施しました。また、都市再生整備計画事業により、あやめ公園の園路改修工事を実施しました。コロナの影響によりシンポジウムは中止としましたが、感染予防を行いながら講座等の事業は実施することができました。
基本方針 (目指すべき方向性)	公営住宅や公園の整備、住宅の耐震化に取り組むとともに、公共施設や住宅地の緑化を推進し、良質な住環境の形成を図ります。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H30	H31	R 2	達成率	進捗状況	所管課	
耐震診断戸数	戸(累計)		534	1,094	992	1,020	1,044	95.4	順調	建築住宅課
耐震改修戸数	戸(累計)		102	192	146	166	178	92.7	順調	建築住宅課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化		
				H30	H31	R 2	R 3	R 4	合計	事業区分	新/継	総合評価	方向性		正規職員数	
1	0108480	都市公園管理事業	公園緑地係	73,856,135	56,350,696	56,015,404				186,222,235	施設の管理運営	継続	A	現状のまま事業を実施することが適当	2.5	
2	0108490	その他公園管理事業	公園緑地係	15,260,769	15,683,597	15,710,242				46,654,608	施設の管理運営	継続	A	現状のまま事業を実施することが適当	1.34	
3	0108500	公園施設長寿命化事業	公園緑地係	75,471,625	76,780,511	114,940,958	224,930,000	99,220,000	591,343,094	ハード(継続)	継続	A	現状のまま事業を実施することが適当	1	○	
4	0108505	花のあるまちづくり推進事業	公園緑地係			770,209	3,755,000	3,755,000	8,280,209	政策的業務	新規	A	現状のまま事業を実施することが適当	0.8		
合計				164,588,529	148,814,804	187,436,813	228,685,000	102,975,000	832,500,146							

事務事業量とコスト(費用対効果)の分析	更新により公園施設の安全性が向上しています。修繕については、施設の長寿命化が行われ、管理、ライフサイクルコストの削減が図られています。公園利用者が安全かつ安心して利用できるよう管理を行っています。市民の緑化に対する意識を継続・発展させ、緑化の推進を図っていきます。
重点化事務事業の考え方	公園施設長寿命化について、交付金を活用し施設更新を進めていきます。
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価(次年度へ向けた課題の抽出含)	安全な公園利用や財源の平準化のため、引き続き計画に沿った整備が必要です。財源に交付金を充てていますが、施設更新を継続して行うためには、安定した財源の確保が必要です。

令和 2年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	安全・安心で快適なまち
基本方針	利便性の高いまち
基本施策名	公共交通の充実

	所属	職名	氏名
作成者	都市計画課	課長	横山 佳久
評価者	都市建設部	部長	坪田 浩昭

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	<p>国道19号明科駅前歩道整備事業に合わせた明科駅周辺整備事業を都市再生整備計画事業により、平成30年度から令和4年度までの5カ年計画で進めています。</p> <p>「安曇野市立地適正化計画」のまちづくり方針1「人口減少下において各地域の核となる5つの中心拠点（拠点市街）の確保」の3つの項目の中で、高度な都市機能の利用環境の確保を掲げており、5つの中心拠点が相互に連携するよう拠点間のアクセス確保と、市内2路線の鉄道を維持・活用し、松本都市圏へもアクセスできる環境を確保するとしています。</p> <p>また、「目指すべき都市の骨格構造」として、5つの中心拠点及び既存市街地・集落と中心拠点を結ぶ公共交通があり、美しい景観・田園環境が保全された、多極ネットワーク型の都市構造を目指すとしています。</p> <p>明科駅周辺を整備し、安曇野市の東の玄関口として、観光客はもとより、市民、北安曇郡及び東筑摩郡を含めた、通勤・通学客や、ビジネスでの関東・中京方面への鉄道利用者の利便性向上を目指します。</p>
基本方針 (目指すべき方向性)	公共交通網の整備を進め、便利で持続可能な公共交通の環境が整っているまちを目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H30	H31	R 2	達成率	進捗状況	所管課
「あづみん（デマンド交通）」の利用者数	人	85,365	88,000	86,273	86,681	75,970	88.1	停滞	政策経営課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費						事務事業の状況					重点化
				H30	H31	R 2	R 3	R 4	合計	事業区分	新/継	総合評価	方向性	正規職員数	
1	0108472	都市再生整備計画事業(明科駅周辺)	都市整備係	58,551,120	205,634,389	156,870,606	413,500,000	484,500,000	1,319,056,115	ハード(新規)	継続	A	現状のまま事業を実施することが適当	2	○
合計				58,551,120	205,634,389	156,870,606	413,500,000	484,500,000	1,319,056,115						

事務事業量とコスト(費用対効果)の分析	人口減少、少子高齢化時代を迎え、持続可能な安曇野市を構築していくため、コンパクトで利便性の高いまちづくりを進めています。都市再生整備計画事業では、駅を中心とした利便性の高いコンパクトなまちづくりの構築を進めています。
重点化事務事業の考え方	国道19号明科駅前歩道整備事業の進捗と合わせた進捗管理が必要です。
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価(次年度へ向けた課題の抽出)	長野国道事務所との連携を密にしながら、令和4年度の事業完了に向けて、事業進捗を図ります。

